

鹿島港津波避難計画 変更箇所対照表

(変更後)

P52) 6-1-3. 北公共埠頭地区

1 行目 北公共埠頭地区は、掘込式港湾の端部にあたり、津波の集積により背後地まで津波浸水が**想定され、東日本大震災時には埠頭背後の市街地にまで浸水が広がり甚大な被害を受けた地区であり、避難先の深芝小学校まで距離があることから、近隣での避難先を確保する必要がある。**

北公共埠頭地区の南側背後にある公設鹿島地方卸売市場は、2F屋上に津波避難スペースを備えていることから、埠頭就労者の津波からの一時的な避難先として公設鹿島地方卸売市場と協定を結び、避難困難地区の解消を図るものとする。

P52) 図-6-7.北公共埠頭地区での津波避難対策



(変更前)

P52) 6-1-3. 北公共埠頭地区

1 行目 北公共埠頭地区は、掘込式港湾の端部にあたり、津波の集積により背後地まで津波浸水が見込まれる地区である。東日本大震災時の津波被害は、埠頭背後の市街地にまで浸水が広がり甚大な被害を及ぼした。

現在、埠頭背後の臨港道路外周において防潮堤による津波対策が行われているが、埠頭就労者の避難目標地点は遠方にあり、近隣での避難先の確保が必要である。

北公共埠頭地区の南側背後には、公設鹿島地方卸売市場が配置しており、2F屋上には津波避難スペースを備えた構造となっている。埠頭就労者の津波からの一時的な避難先として公設鹿島地方卸売市場と協定を結び、避難困難地区の解消を図るものとする。

なお、公設鹿島地方卸売市場への避難経路として、防潮堤にスロープ（腹付け盛土）及び、臨港道路と埠頭用地の境に人用門扉を設置し、避難先への最短ルートとする。

(変更後)

(変更前)

P52) 図-6-7.北公共埠頭地区での津波避難対策

